



創樹 92

2024年10月20日発行



日々、利用者の方々と向き合ううちに2024年度も半期が過ぎようとしています。令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により、年度末から年度初めにかけて新制度に対応すべく様々な変更を行いました。グループホームにおいては、共同生活援助における支援の質の確保(地域との連携等)を目的として、地域連携推進会議を設置し、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れる取り組みの義務付けが新設されました。

グループホームの利用者の方々は朝のゴミ出しや出勤時などに、すれ違う地域の方へ挨拶し「いってらっしゃい」と声をかけて頂いています。これまで、地域の清掃活動や行事に利用者の方とスタッフが参加していましたが、コロナ禍で行事等が中止されたり縮小されるようになっていきました。今、以前の形に戻りつつある中で、この度の制度の新設は、改めてグループホーム及びそこで生活される方やスタッフと地域の方との繋がりを進めてくれるものになってくれるかもしれません。

事業所では、年度初めに利用者の方が亡くなられました。その方は事業所内の一つのホームで開設当初から生活されており、独特のペースでゆったりとホーム内を歩かれたり、相撲中継を見て楽しまれていた方でした。その方が亡くなられたショックも癒えぬうちに、別のホームでは利用者の方数

管理者挨拶

利用者さんたちと向き合うことで救われる日々

名が新型コロナウイルス感染症に罹患され、緊張しながら対応する日々が続きました。

そんな日々の中、利用者の方々は「○○したい」「○○に行きたい」など自分の意思を伝えられたり、思いを表そうとされていきました。スタッフは利用者さんと一緒に考えたり、その方の気持ちを想像したりしながら、思いを実現しようとしていきました。

そんな利用者の方々の皆さんやスタッフの姿を見ながら、私自身は自分を振り返って、何をやっているのだろうと自分を不甲斐なく思ったり、迷ったり、悶々としたりを繰り返してききました。繰り返しの中で、とにかく今、目の前にいる人たち(利用者の方々)に向き合ってきました。利用者の方々と一緒に何かをしているうちに、自分自身の迷いや焦りや諸々の思いが少しずつ修正されて、落ち着きを取り戻していったように思います。楽器が調律されていくような感じでしょうか。そして、また「やってみよう」と思えるようになりました。こんな繰り返しで半期が過ぎました。これからの半期も利用者の方々と一緒に何かをしながら「やってみよう」という気持ちで、みなさんに向き合っていきたいと思っています。

サポートセンターひびきの家 片岡 志保美



ぶちええね

職員インタビュー

福山六方学園/山下 秀幸

入職のきっかけ

施設実習に行く前は「嫌だなあ…」と思っていましたが、日が経つにつれて子どもたちのかわいさや、いろいろな姿を見つけることができ、「コミュニケーションに楽しさを感じたからです。」

入ってからの指導体制

年齢の近い職員が多く、先輩方も遊びに誘ってくださるなど、一人で抱え込むことなく仕事の悩みを相談しやすい環境だと思います。

大切にしていること

自分が子どもだった時のことを思い出しながら、家庭で生活している子どもたちと同じように過ごせるように支援したいと思っています。

心に残っているエピソード

朝起きるのが苦手な利用者さんの支援について、他の職員からは「この

子は離れて見守るしかない」と言われたのですが、あきらめきれず声掛けしていたら起きることができるようになり、そこからその利用者さんと良い関係を築けたことです。

仕事のやりがい

子どもたちとの関係性を築くことはもちろん、保護者の方と連携を取ったりした際に「この職員さんいいね」と言ってもらえることです。

休日の過ごし方

ゴルフや草野球など多趣味なので、休日とはとにかく外に出ます。休みの調整もしてもらいやすいので、プライベートも充実しています。

これから挑戦したいこと

子どもたちに「福山六方学園に来てよかった!」と思えるような楽しい活動を考え実践していきたいです。

あいサポートアート展
会 期:2024年11月26日~12月1日
会 場:ふくやま美術館
ギャラリー・ホール
入場料:無料



今後の予定

2024年7月1日~2024年9月30日

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同)
*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

○ボランティア ・福山職業訓練センター 藤本和人、有志1名

実習生

○保育士	8月1日~(12日間)	安田女子短期大学	1名
	8月19日~(10日間)	広島文教大学	3名
	9月11日~(10日間)	広島文教大学	3名

ありがとうございます
ごいしました

事業所一覧

- 福山六方学園(障害児入所施設)(短期入所)(日中一時支援)
- あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護)(短期入所)(日中一時支援)
- サポートセンターひびきの家(共同生活援助)
- サポートセンター友の家(共同生活援助)
- サポートセンターかなで(日中サービス支援型共同生活援助)(短期入所)
- さわらび(生活介護)
- ヘルパーステーションあしすと(居宅介護・行動援護)(移動支援)
- ONE-すてっぷ(児童発達支援)(放課後等デイサービス)(日中一時支援)(障がい児療育等支援)
- ふぁんたす(放課後等デイサービス)
- 相談支援センター風ぐるま(一般相談支援)(特定相談支援)(障がい児相談支援)
- さくら(就労継続支援B型)(生活介護)
- 輛の津ミュージアム(ギャラリー)

発行日:2024年10月20日
発行元:社会福祉法人 創樹会 〒720-0832 広島県福山市水呑町7187番地1
TEL:084-956-0255 FAX:084-956-5749
swc@soujukai-fukuroku.or.jp https://soujukai-fukuroku.or.jp



創樹会Instagram 創樹会webサイト

あとがき

10月1日に創樹会の始まりとなる福山六方学園が開設して65周年を迎えました。これからも「創樹」を通して、利用者さんと職員のいろいろな姿や各事業所の様子をお届けしていきたいと思っています。

(編集スタッフ一同)

■題字:田中 盧雪 ■表紙:村上 多美
■誌面イラスト・文字:内海 卓雄、佐々木 和徳
藤井 正彦、藤井 恵子



住所 | 〒720-0201 福山市鞆町鞆271-1
開館時間 | 10:00-17:00(月火休館)入場無料
電話番号 | 084-970-5380
Webサイト | https://abtm.jp

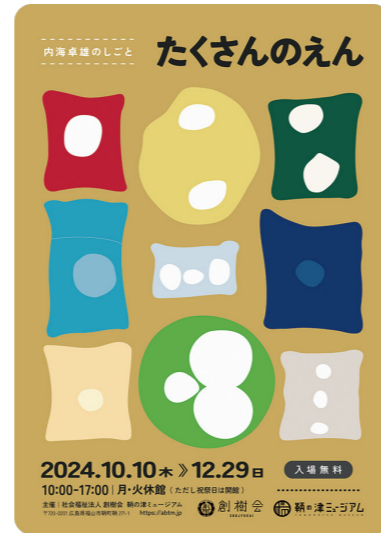
展覧会情報

Exhibition information

展覧会《たくさんのえん—内海卓雄のしごと》開幕！

10月10日(木)より、鞆の津ミュージアムにて《たくさんのえん—内海卓雄のしごと》展が始まりました。本展は、あゆみ苑成人寮で暮らす内海 卓雄さんが生み出した様々な表現を一堂に集め、お伝えするものです。

これまで、創樹会の利用者さんたちによる表現をお伝えする《はじめまし展》は毎年恒例行事として開催してきましたが、利用者さんの個展というかたちは初の試みです。



- 【企画展】たくさんのえん—内海卓雄のしごと
【入館】無料
【会期】10月10日(木)~12月29日(日)
【時間】10:00~17:00
【休館日】月・火曜(ただし祝祭日は開館)
【主催】社会福祉法人 創樹会 鞆の津ミュージアム

イベントレポート
展覧会《自由に十色》へ出品

久松共働センターさんからお声がけいただき、展覧会《自由に十色~along with~》に作品を展示させていただく機会がありました。



会場の様子(創樹会展示エリア)



社会福祉法人 創樹会 前理事長
西山堅太郎 偲ぶ会



【上】創樹会理事 田守理事による献杯
【中】広島県知的障害者福祉協会 米川会長による弔辞
【下】スライドショー(在りし日の思い出)を上映中の様子

7月30日17時より、福山ニューキャッスルホテル光耀の間にて、「社会福祉法人創樹会 前理事長西山堅太郎偲ぶ会」を執り行いました。

西山前理事長は2022年9月に当法人理事長を退任され、病气療養に専念されておりましたが、2023年8月7日に逝去されました。

西山前理事長は在任中、へきり、みんなダイヤモンドと仰っていました。この言葉は、利用者さん一人一人の輝く姿を見出し、全ての人にスポットライトがあたる支援を長年探求されてきた前理事長の理念の現れにほかなりません。

社会福祉法人 創樹会 理事長
田中創



ONE-すてっぶ

夏の出来事

ONE-すてっぶでは、スタッフの「子どもたちに夏らしいことを経験させてあげたい!」という思いから、水遊びと夏祭りを行いました。水遊びでは、子どもたちもスタッフもずぶ濡れになりながら目一杯楽しみ、夏祭りでは射的・的当て・折り紙釣りを実施。的が倒れるとイラストが変わる仕掛けに「楽しかった!」「またやりたい!」と喜ぶ子どもたちの姿をたくさん見ることができました!

岡田 里菜



すてっぶ

かき氷屋さん

すてっぶでは、夏の恒例イベント「かき氷屋さん」が登場。かき氷屋さんとなった子どもたちのやり取りの中で、他の子どもたちにも「自分もやってみたい!」という気持ちが膨らんでいきました。そんな願いを知ってか、かき氷屋さんからお手伝いをお願いする声! 「今日はボクが!」「ワタシがやる!」とみんな勢いよく手を挙げて立候補! 大好きな先生やお友達にはこっそりサービスしてみたり、それぞれがかき氷屋さんになりきって、お客さんとのやり取りを楽しみました。

山野上 朋海



さくら

創作のたのしみ

さくらの利用者さんは日々作業を頑張っていますが、昼食後から13時までの休憩時間を利用して、絵を描いたり紙を切ったりと創作活動も行っています。先日、ふくやま美術館にて開催された「陽と風と展…」へはさくらからも作品を出品し、多くの方々に見ていただくことができました。今後も作業だけでなく、個々の楽しみも並行して行っていければと思います。

西山 裕子



ふぁんたす

水辺公園

夏休みに帝釈峡の水辺公園へ遊びに行きました。友だちと協力し合いながらつかみ取りした魚や釣った魚、新鮮なトモロコシをその場で焼いて食べたり、流しそうめんを食べたりして、腹ごしらえをします。食べ終わった後は、川の水を使った水温13~14度の天然水プールで、火照った体をクールダウン。自然の中でしか味わえない非日常の体験をすることができて、子どもたちの笑い声が山の中に響き渡っていました。

坂本 和隆



夏祭り

毎年恒例! 子どもたちが楽しみにしている夏まつり! 今年は射的・ポッチャ・スーパーボールすくい・おかし釣り・わたあめ・かき氷のコーナーを設けました。各コーナー、色々な景品があるため、みんなワクワク! スーパーボールすくいや射的では、欲しい景品に狙いを定め真剣な表情の子どもたちの姿が何とも微笑ましかったです。「あー楽しかった!」と思わず眩き、満足そうにする表情に心がほっこりする夏の1コマでした。

小林 倫子



ひびきの家 ホームふじ

誕生日会

ホームふじで7月の誕生日会を行いました。誕生日の方が4名おられ、ホーム内では最も多い月。昼食では、ちらし寿司などそれぞれが好きなメニュー、おやつにはケーキを食べました。皆さんケーキがお好きなので、全員ニコリえびす顔。プレゼントをもらって喜ばれ、さっそく使ったり部屋に飾ったり…。その姿を見て、次に自分がプレゼントをもらえる時への期待を膨らませる他の利用者さんも、まずはクリスマスへの思いを馳せておられました。みんなで楽しむことができた誕生日会になったように感じます。

岡田 早百合



サポートセンター友の家

ふうりんの集い

9月8日、友の家恒例「ふうりんの集い」の行事としてバーベキューを行いました。暑い中、火を使って調理をしたため、皆さん汗だくとなってお肉や野菜を焼いておられました。「炭火で焼いたお肉は全然味が違う」と感想を話されるなど、楽しんでいただけた様子。デザートには皆で冷たいアイスを食べ、会を締めくくりました。



あゆみ苑成人寮 男子棟

夏祭り

8月29日にあゆみ苑夏祭りを開催しました。お化け屋敷・魚釣り・千本釣り・喫茶など、たくさん準備されたイベントに利用者の皆さんは大喜びです。また、今年の昼食は初の試みとして、たこ焼き・メンチカツ・プリン・ラーメン等を屋台風にして提供し、食べていただきました。盛りだくさんのメニューをおいしそうに食べ、とても満足された様子。楽しい声が響く行事ができ、スタッフも大満足でした。

守光 隼人



福山六方学園

個別外出

夏休みに個別外出を行いました。子どもたちがそれぞれ行きたい場所を決め、職員と一緒に計画を立案。プールやパッチングセンターに行ったり、映画を観たりと楽しい時間をすごすことができました。昼食も子どもたちが食べたい物を自分で決めていきます。ハンバーガーやピザなど美味しい物をたくさん食べ、幸せそうな表情を浮かべていた子どもたち。それぞれ時間いっぱい楽しむことができ、大喜びでした。

佐々木 かれん



夏祭り

8月10日、夏休み恒例行事の夏祭りを開催。準備段階から子どもたちも椅子や机を運んだり、ゲームの道具を作ったりと積極的に手伝ってくれました。途中、昼食用のポテトフライをつまみ食いする可愛い姿も。昼食の焼きそばやフランクフルトを食べた後、かき氷では様々なフルーツやシロップで自分好みにアレンジして味わう子どもたち。昼食後には射的や輪投げなどのゲームに参加するなど、笑い声の絶えない楽しい会となりました。

片山 裕貴



学園の日々
夏

NEWS

「クランクの秋祭り」へ参加

鞆の津ミュージアムのすぐ近所にある就労継続支援B型事業所のカフェ「スープとおにぎりクランク」さんからお誘いいただき、9月22日に開催された秋祭りに参加しました。私たちが提供したのは綿菓子。お店の看板にある「わたがし」はあゆみ苑の内海卓雄さんによる文字です。さらには内海さんの文字をあしらった大きな「わたがしブローチ」(当館スタッフの自作!)を帽子に装着して開店を迎えました。訪れた子どもたちに綿菓子づくり体験してもらったりしながら、4時間で合計80個ほどつくり販売。お祭りは大賑わいで、福祉事業所が多様なつながりを生み出す瞬間を目の当たりにすることができました。

鞆の津ミュージアム 津口 在五



地元の学生さんに向けた職場体験の受け入れを行っています!

ふたつのインターンシップ

すてっぷ・ONE-すてっぷ・ふぁんたす

8月19日から23日にかけて、BINGO OPENインターンシップからのつながりで、福山大学の学生さん4名を受け入れました。児童施設を希望されているということもあり、すてっぷ・ONE-すてっぷ・ふぁんたすの3事業所を日ごとに順繰り入れ替わりながら、それぞれに体験。プール遊びや外出支援への同行、あるいは事業所内で存分に子どもたちと遊ぶなど、様々な現場にふれていただけたのではないのでしょうか。現在、皆さんは2年生とのことですが、今回の経験がこれからの活動へ何かよい影響があれば、と思います。

鞆の津ミュージアム

8月26日から5日間、尾道市立大学の学生さん1名のインターンを鞆の津ミュージアムにて受け入れました。尾道市立大学からのインターン参加も今回で3年目。美術を学んでいるということにちなみ、普段から自主制作で冊子などもつくっているということだったので、今年は、あゆみ苑の利用者さんが生み出した作品を紹介するミニカタログを制作することに。写真を見本にして利用者さんに描いてもらったイラストやこれまでに描いてあった表現をいくつか選定してもらったうえで、作品紹介の一言を添えるかたちで紙面をレイアウトしていきます。手慣れた様子でタブレットのデザインソフトを操り、シンプルながらわかりやすい冊子が完成しました。その後は、利用者さんの作品をあしらったかわいいレターセットも作成。さらには、作品の額装をはじめ電動ドライバーや水平器を使った展示作業も体験し、5日間のインターンを終えました。創作支援・広報/アウトリーチ活動・展示作業・雑貨制作と、福祉職のあまり知られない一面にふれる機会になるとともに、「学んできたことがこういうかたちでも活かせるんだ」という気づきに繋がっていただきたいと思います。

鞆の津ミュージアム 津口 在五



利用者さんの作品を紹介するミニカタログ。タイトルの『返す刀』は学生さんの好きな文字とのことで、あゆみ苑の内海さんに書いてもらったものをあしらいました。



レターセット。利用者さんの描いた海の生き物を素材に使用したもので、それにちなんだ波形のデザインがとてかわいい。

Internship

いのちを想う



いのちの日の集い

8月11日、「いのちの日の集い」を執り行いました。平成10年8月11日の水遊び行事の際に発生した事故で亡くなられた利用者さんをはじめ、これまで亡くなられた利用者の方々のご冥福をお祈りするため毎年開催している式典です。このような出来事が起こりえることを再認識し教訓として生かしながら、今後も支援してまいります。

サポートセンターかなで 向井 健広



救急救命講習

今回の救命救命講習では、AEDの使用方・心肺蘇生のやり方・喉に詰まった時の対処法を福山南消防署の方に教わりました。日々の支援を行う中、緊急時には、いつ何が起きるのかわからない状況なので、すぐ対応できるようなになっておくことの重要性に気づきました。救急の方が駆けつけてくれるまでの時間に私たちが救急処置を行うことで身近な人の命を助けられる、という学びを今後生かしていきたいです。

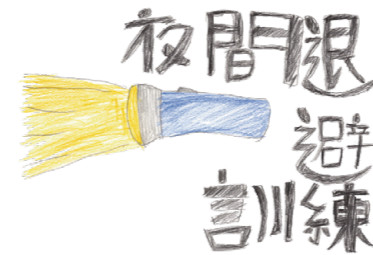
すてっぷ 向井 亜弥



夜間退避訓練

福山六方学園内で9月20日に夜間退避訓練を行いました。事業所内で火災が発生したと想定し、子どもたちを避難させるスタッフは当日発表。泣いてしまう子、火災報知機の音やスタッフの声掛けで起きない子など様々でしたが、スタッフが素早く誘導し全員避難することができました。常に火災や災害を想定し、子どもたちの命を守る行動ができるよう今後も訓練を行っていきます。

福山六方学園 佐々木 かれん



PICK UP 日本職業リハビリテーション学会参加報告

職員による勉強会「創樹らいぶらり」のメンバーで、鳥根県・松江テルサで開催された日本職業リハビリテーション学会のポスター発表をしてきました。これは、「創樹らいぶらり」に参加いただいている福山平成大学の矢野川准教授にお声がけいただき実現したものです。強度行動障害の状態にある方の支援をテーマとして始まったこの勉強会の変遷などをまとめ、「A法人における事例検討と職員のメンタルヘルスに関する試み」と題して準備。発表の時間は、活発な質疑応答で過ぎ、持ち時間はほどなく終了しました。この貴重な経験を今後の活動に活かしていきたいと思ひます。

事務局長 山本 由紀子

